

南牧村 橋梁長寿命化修繕計画 (第3期)



令和 3 年 12 月

（令和 6 年 9 月 一部改訂）

長野県 南牧村



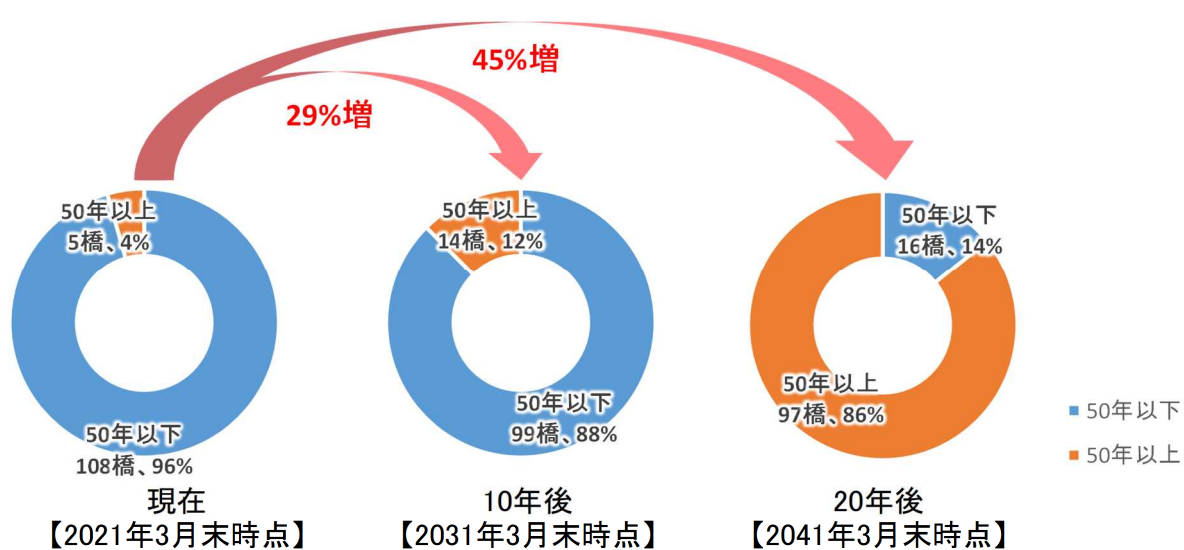
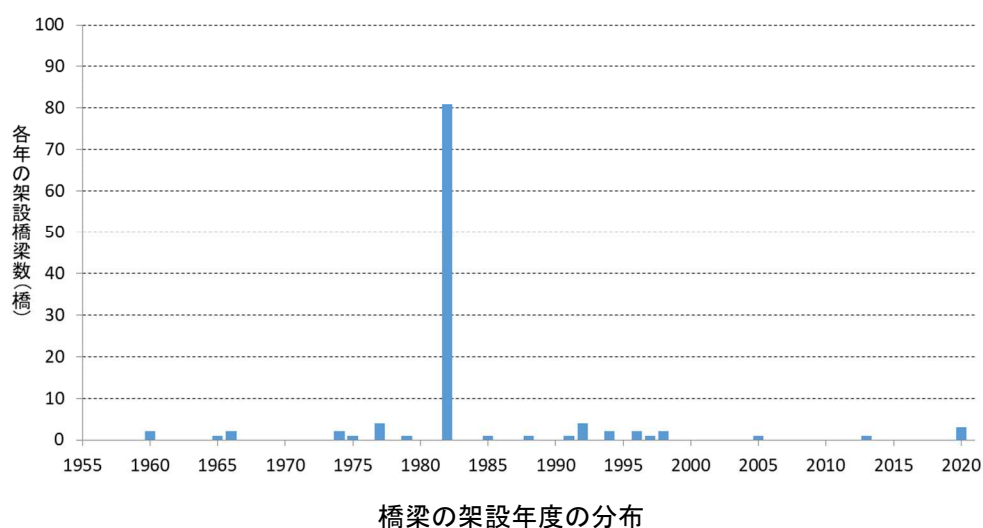
目 次

1. 橋梁長寿命化修繕計画の目的	1
2. 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁	4
3. 健全度の把握及び維持管理に関する基本的な方針	7
4. 老朽化対策における基本方針	10
5. 橋梁の長寿命化に係る費用の縮減に関する基本的な方針	11
6. 対象橋梁毎の概ねの次回点検時期及び修繕内容・架替え時期及び架替え内容	13
7. 橋梁長寿命化修繕計画による効果	20
8. 長寿命化に向けた短期的な数値目標	21
9. 計画策定部署及び意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	22
10. 添付資料	
1) 計画対象橋梁一覧	23
2) 今後の補修・架替え事業費の算出	35
3) 優先順位の設定	49
4) 各橋の補修箇所概算工費	55
5) 橋梁点検調書	189

1. 橋梁長寿命化修繕計画の目的

1-1. 計画策定の背景

南牧村が管理する橋梁は、令和3年6月現在で113橋あります。現在、建設後50年以上を経過している橋梁は23橋で全体の32%ですが、20年後にはその割合が約77%となります。これら橋梁の多くは昭和45年～50年の間で建設が集中しており、今後、多くの高齢橋梁がまとまって出現することになります。このような状況のもと、平成23年9月、コストの縮減、平準化を図ることを目的として第1期 橋梁長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の計画的な修繕を実施してきました。第2期計画の策定から5年経過したことから、長野県道路橋定期点検要領(令和元年10月)により行った第3回定期点検(令和2年度)に基づき、第2期計画を見直し、第3期計画となる南牧村 橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。



架設後50年以上となる高齢橋の割合

1-2. 目 的

第1期計画では、損傷程度に応じて優先度を選定しC, E1, S判定の7橋を補修する計画とし、これまでに平成28年3月現在、3橋の橋梁修繕が行われ、3橋架替えが行われました。

第2期計画では、長野県道路橋定期点検要領（平成27年6月）により行った第2回定期点検（平成27年度）に基づき、健全度の再評価、橋梁の重要度に応じた維持管理の区分け、維持管理区分と健全度に着目した優先順位付けによる修繕の実施、予防保全対策の導入を行い、維持管理費の縮減と平準化を図りました。

第3期計画では、第2期計画の基本方針を継続し、改定された長野県道路橋定期点検要領（令和元年10月）により行った第3回定期点検（令和2年度）に基づき計画の見直しを行いました。

<第1期計画>

- ・判定区分 A, B, C, E1, E2, M, S（国交省の指標）による修繕時期の判断
- ・損傷度が E1（橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要が必要）となる橋梁の修繕実施
- ・日常的な維持管理（道路パトロール）による異常の早期発見



<第2期計画>

- ・判定区分 I, II, III, IV（H27 長野県の指標）による修繕の必要性判断
- ・橋梁の重要度に応じた維持管理水準の区別化
- ・維持管理区分と健全度に着目した優先順位付け
- ・日常的な維持管理（道路パトロール）による予防保全の継続的な実施



<第3期計画>

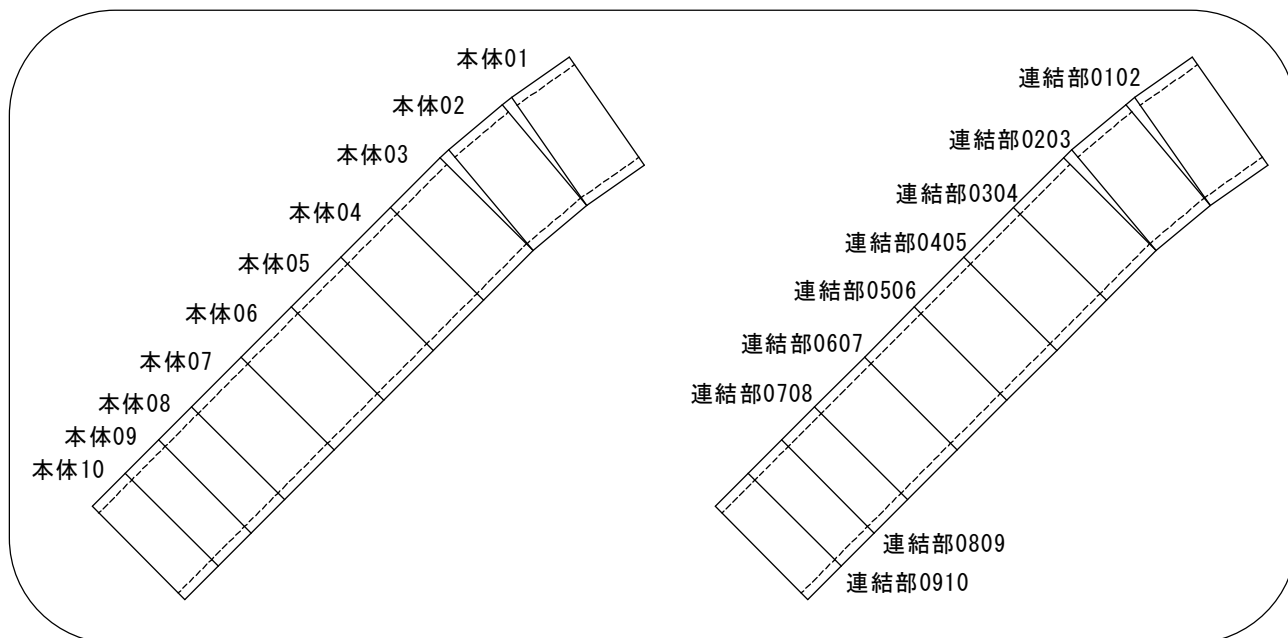
- ・第2期計画の基本方針の継続
- ・判定区分 I, II, III, IV（R1 長野県の指標）による修繕の必要性判断
- ・計画の見直しによる維持管理費の更なる縮減と平準化

なお、今回の第3期長寿命化修繕計画の期間は令和3年12月～令和13年12月です。

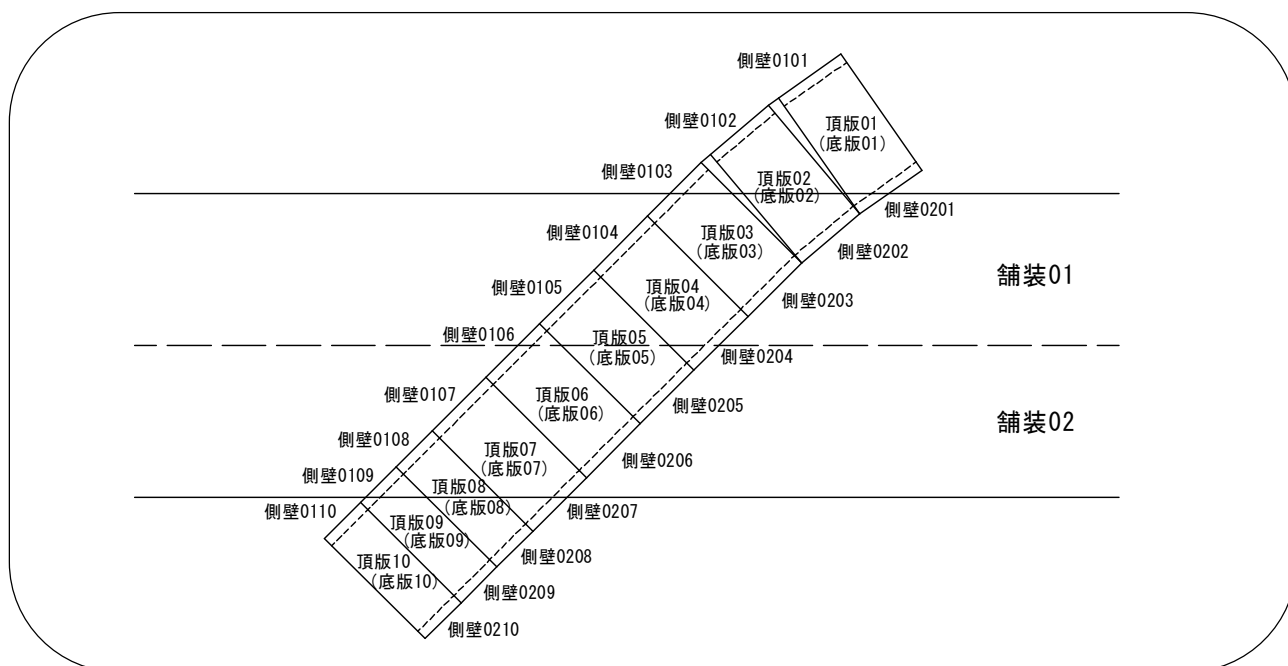
1-3. 定期点検要領の改訂事項(ボックスカルバートについて)

令和元年 10 月に長野県道路橋定期点検要領が改定されました。改定に伴い、ボックスカルバートの部材番号の書式が変更となりました。第 3 回定期点検では、新基準に書式を変更し作成しました。

(平成 27 年度 長野県道路橋定期点検要領 部材番号例)



(令和元年度 長野県道路橋定期点検要領 部材番号例)



2. 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

長寿命化修繕計画の対象とする橋梁数を示します。

		橋梁数	備考
全管理橋梁数		113 橋	
R3 年度 計画策定橋梁数	グループA	21 橋	1 級村道,長大橋,跨道橋, 跨線橋,孤立集落が発生
	グループB	40 橋	2 級村道, 橋長 15m 以上 PC桁橋
	グループC	52 橋	その他村道 橋長 15 m 未満
	合 計	113 橋	

○ 橋梁長寿命化修繕計画の対象

- ・ 長寿命化修繕計画では、全管理橋梁を対象とします。
- ・ 管理水準の設定や定期点検の効率化など、維持管理の目的として計画対象橋梁について、規模、桁下条件、路線重要度に応じて、グループA, B, Cの3つに区分して維持管理を行います。

グループA：1 級村道，長大橋（橋長 50m 以上），跨道橋、跨線橋
孤立集落が発生する橋梁

グループB：2 級村道，橋長 15m 以上，P C 桁橋

グループC：その他村道，橋長 15m 未満，橋長 2.0m 以下，土被り 1.0m 以上

◇ 橋種、橋長別管理橋梁数

南牧村で管理する橋梁数を示します。

橋種・橋長	橋梁数	摘 要
全管理橋梁数	113 橋	
橋長 2m以上の車道橋	104 橋	
橋長 50m 以上	8 橋	
橋長 15～50m	18 橋	跨道橋 1 橋
橋長 15m 未満	78 橋	
河川を渡河する人道橋	1 橋	
木橋	1 橋	
BOX 等(橋長 2.0m 以下,土被り 1.0m 以上)	7 橋	

年代別・橋梁データ

地区名： 南牧村

形 式	鋼 橋		R C 橋		P C 橋		斜 張 橋		その他 (BOX等)		小 計		合 計
	15m以上	15m未満	15m以上	15m未満	15m以上	15m未満	15m以上	15m未満	15m以上	15m未満	15m以上	15m未満	
橋 長											3	0	3
	1956～1965		3										
											5	0	5
	1966～1975	2	1		2								
											8	79	87
	1976～1985	4	2	45	2	6			26				
1986～1995				2	4	1					4	4	8
											5	1	6
	1996～2005	3			1	1	1						
2006～2020					1						1	3	4
									3				
計	9	2	6	47	10	8	1	0	0	30	26	87	113

計画策定損傷程度、橋長別データ (113橋)

橋 長	I	II	III	IV	合計
15m以上	5 (4. 4%)	18 (15. 9%)	3 (2. 7%)	0 (0. 0%)	26 (23. 0%)
15m未満	18 (15. 9%)	56 (49. 6%)	13 (11. 5%)	0 (0. 0%)	87 (77. 0%)
合計	23 (20. 4%)	74 (65. 5%)	16 (14. 1%)	0 (0. 0%)	113 (100%)

2-1. 第2期計画に基づいた修繕の実施

第2期の長寿命化修繕計画を基に、計画的に修繕が実施されました。それにより、橋梁の耐久性や利用者の安全性が向上しました。そのことから、第2期の長寿命化修繕計画が橋梁の維持管理に効果を発揮できたことが伺えました。

第2期計画以降の修繕橋梁一覧

橋梁番号	橋梁名	修繕年	主な修繕箇所
32	神明森橋	2021	ボックスカルバート架替え
42	中の沢2号橋	2019	ボックスカルバート架替え
54	矢出川2号橋	2020	ボックスカルバート架替え
84	志なの入り2号橋	2021	橋面・伸縮装置・高欄・下部工補修
91	向橋	2016	橋面・伸縮装置・高欄・地覆・排水装置・下部工補修
92	板橋国道橋	2019	橋面・伸縮装置・高欄・地覆・主桁・床版 支承・排水装置・下部工補修
93	板橋川橋	2020	アーチリブ・主桁・床版・支承・下部工補修
96	古屋敷橋	2014	橋面・上下部工・高欄・伸縮装置補修・耐震補強
98	湯川橋	2021	伸縮装置・高欄・支承・下部工補修
101	大門川橋	2021	伸縮・高欄・地覆・排水装置・アーチリブ 主桁・支承・下部工補修
107	板橋東大橋	2021	橋面・高欄・地覆・排水施設・床版・支承・下部工補修



写真1. 橋梁架け替え例 中の沢2号橋
(ボックスカルバート)



写真2. 橋面補修例 向橋
(舗装更新)



写真3. 高欄補修例 矢出川2号橋
(高欄更新)



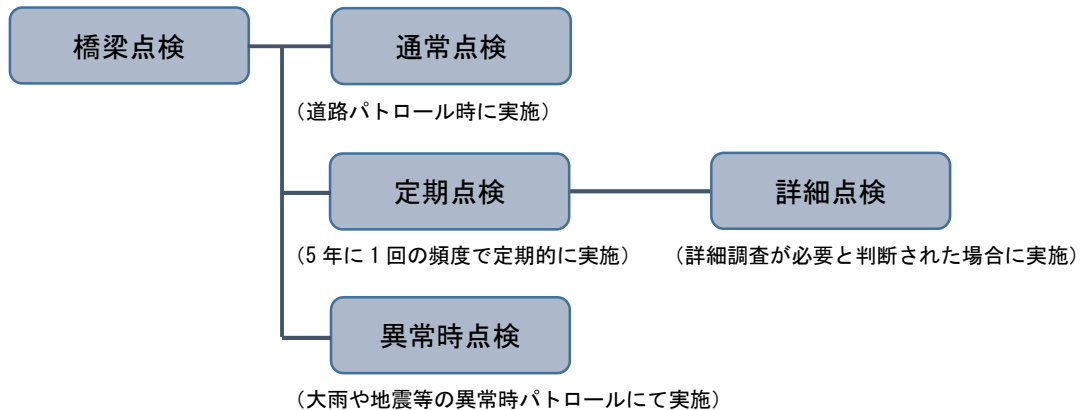
写真4. 床版補修例 板橋東大橋
(ひび割れ注入)

3. 健全度の把握及び維持管理に関する基本的な方針

橋梁長寿命化修繕計画を策定・実施するためには、各橋の健全度の把握・劣化進行状況を把握し状況に応じた対策を行うことが重要になります。

3-1. 点検の手法

- 本計画では、5年に1回の「定期点検」と、日常的に実施される通常点検により、橋梁の状態（健全度）を把握し修繕計画に反映させます。



橋梁点検の体系

点検種類	内 容
[通常点検]	損傷の早期発見を図るために、道路の日常点検（パトロール）を行う際に合わせて実施する橋梁の目視点検
[定期点検]	橋梁の保全を図るために定期的実施するもので、主に地上・河川からの目視、および梯子・リフト車・橋梁点検車を使用して行われる点検 定期点検は5年に1回実施 新技術のドローン等も活用し現状を把握する
[詳細点検]	定期点検により、損傷の要因・程度等を把握するため、詳細な調査が必要と判断された場合に実施する点検
[異常時点検]	大雨や地震が発生した際、橋梁に異常が認められないか、異常時の道路パトロール時に実施する点検

橋梁点検の種類と内容

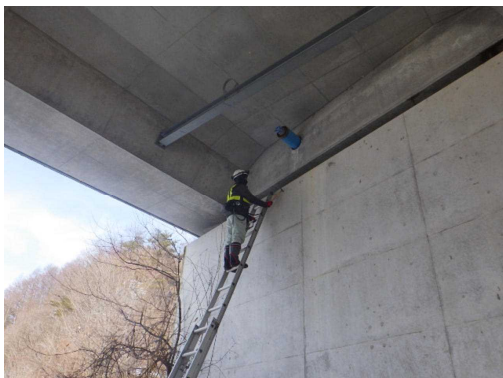


写真1. 梯子による点検



写真2. 橋梁点検車による点検

3-2. 健全度の把握

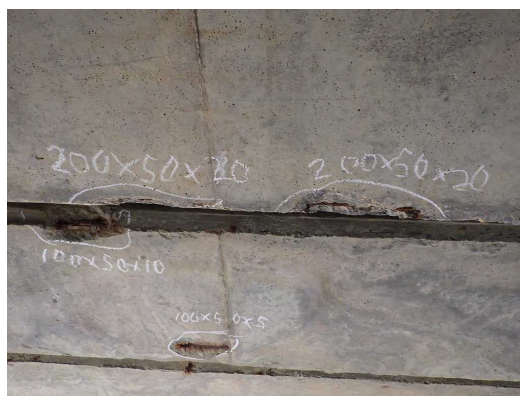
- 南牧村では、長野県道路橋定期点検要領(令和元年10月)により定期点検を実施するとともに、その結果から橋梁の健全性を4段階で評価します。

健全性の判定区分

区 分		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



健全度Ⅰ：板橋国道橋



健全度Ⅱ：矢出沢橋



健全度Ⅲ：平沢橋



健全度Ⅳ：長野県点検要領より

※ 長野県の判定区分において、高力ボルトに F11T 規格が使用されていると遅れ破壊¹⁾の懸念があるため判定Ⅲとなっています。南牧村においては板橋国道橋、北沢橋に使用が確認されましたが、前回点検同様抜け落ちはなく、板橋国道橋は国道141号上に架設されていますが、ボルトの脱落防止処理が行われ、ボルト落下による第三者被害の可能性も低いことから判定Ⅰと評価しています。

1) 遅れ破壊とは、一定の引張荷重が加えられている状態で、ある時間が経過したのち、外見上はほとんど塑性変形を伴わずに突然脆性的に破壊する現象です。



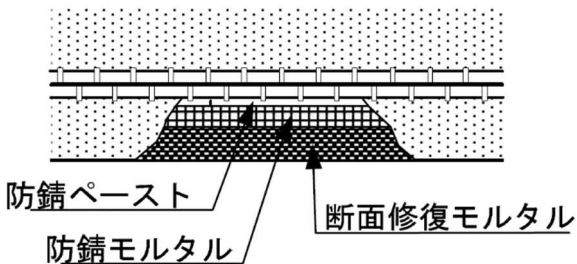
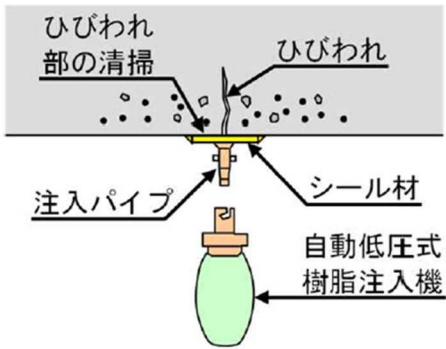
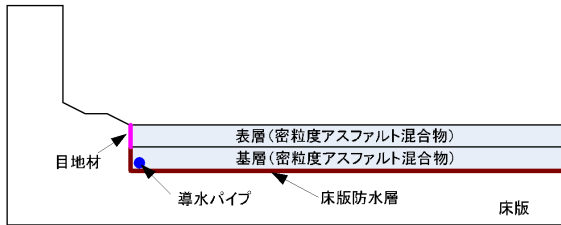
板橋国道橋(ボルト落下防止キャップ)

3-3. 修繕方針

定期点検結果を基に修繕方針を策定します。修繕目的は、橋梁の劣化要因の除去・遮断を行い耐久性を確保し、利用者の方々の安全を守ることです。

南牧村で確認された主な変状と対策例は以下の通りです。

主な変状と修繕方法

損傷：鉄筋露出	修繕方法(補修)：断面修復工
	 防錆ペースト 防錆モルタル 断面修復モルタル
損傷：ひび割れ	修繕方法(補修)：ひび割れ補修工
	 ひびわれ部の清掃 ひびわれ 注入パイプ シーリング材 自動低圧式樹脂注入機
損傷：雨水侵入	修繕方法(補修)：舗装更新+橋面防水
	 目地材 表層(密粒度アスファルト混合物) 基層(密粒度アスファルト混合物) 導水パイプ 床版防水層 床版

4. 老朽化対策における基本方針

5年ごとに実施する橋梁の点検・診断結果とライフサイクルコストを基に、老朽化の対策を実施し長寿命化を図っていきます。

5年ごとの定期点検が一巡するタイミングで遅延なく計画を見直し、最新の定期点検結果を反映した優先順位の計画としていきます。

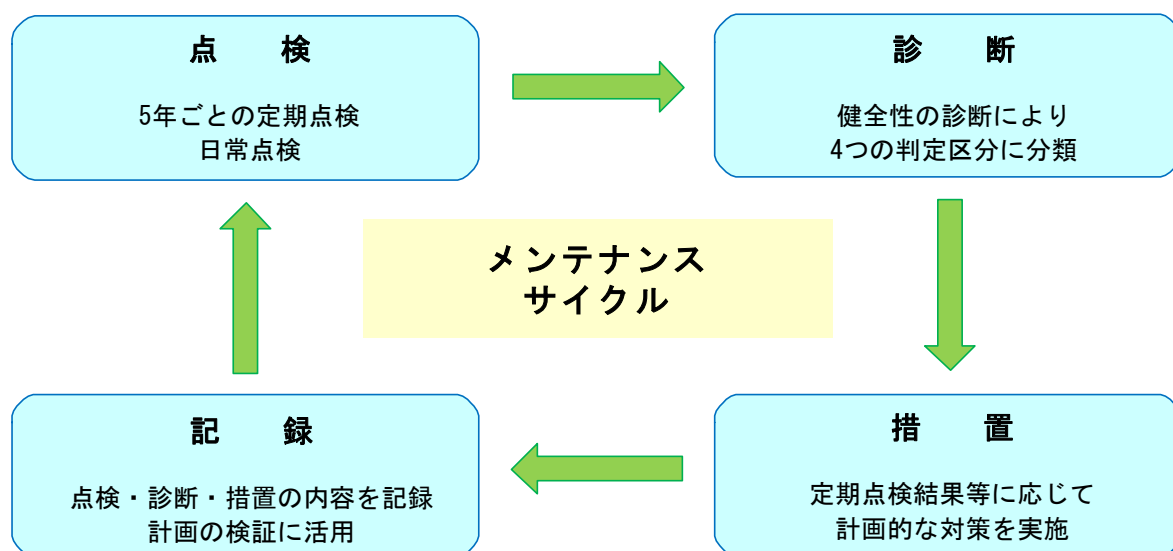
また、橋梁の損傷、危険箇所等の早期発見と迅速な対応を図るために、日常点検（パトロール）時に住民からの情報の得る等早期対応に努めます。

次の3つの基本方針を定めます。

基本方針 1

持続可能な維持管理の実現

橋梁の維持管理の取組を計画的かつ効果的に進めるためには、点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを構築し、持続可能な維持管理を実現していきます。



基本方針 2

効率的な維持管理の実施

判定区分【Ⅲ】と判断した橋梁については、損傷箇所数や損傷程度等を考慮し、優先的に対策を講じます。

判定区分【Ⅱ】と判断した橋梁については、地域性・重要性等を考慮し、予防保全対策を講じます。

基本方針 3

新技術の活用推進

橋梁の点検・診断や長寿命化修繕工事を実施するにあたっては、橋梁点検専用ドローン等や人工知能(AI)による点検支援技術の活用、修繕工事における新材料や新工法等の活用に向け、新技術や技術動向を把握し導入の検討を進め点検作業の効率化や修繕コストの縮減に努めていきます。

5. 橋梁の長寿命化に係る費用の縮減に関する基本的な方針

「損傷が深刻化して大規模な修繕・架替えを実施する対症療法的な維持管理」から、「定期的に点検を実施して損傷が深刻化する前に計画的に修繕を実施する予防保全的な維持管理」を導入することで対象橋梁の長寿命化を図り、修繕及び架替えに係る費用の平準化・コスト縮減を行います。

◇ 維持管理区分

長寿命化修繕計画対象橋梁については、全ての橋梁に対して「軽微な損傷のうちに修繕を行う」予防保全的な維持管理が望ましいのですが、点検の容易性、修繕工事の施工性、コスト縮減効果などを考慮し、橋梁の重要度に応じて維持管理の目標や方針を区分化します。

グループ	維持管理区分	維持管理の目標・方針
A	予防保全	橋梁を長期間延命化させることを目標に、損傷を顕著化させないための補修を実施
B	予防保全	橋梁を長期間延命化させることを目標に、点検により軽微な損傷が発見された段階で補修を実施
C	計画保全	橋梁を中長期間延命化させることを目標に、損傷が進行して顕著化した後に、損傷状況に応じた修繕を実施

◎ 「グループA」

橋梁規模が大きく、損傷が進行した場合大規模な補修が必要となり、路線重要度が高く社会に与える影響が大きい橋を選定し、「損傷を顕著化させないための修繕を行う」予防保全的な維持管理手法を導入します。1級村道、橋長 50m以上の橋梁、第三者被害を防止する必要のある跨道橋、跨線橋、孤立集落が発生する橋梁を対象とします。

◎ 「グループB」

橋梁規模が中規模であり、路線重要度が高く社会に与える影響が大きい橋を選定し、「軽微な損傷のうちに修繕を行う」予防保全的な維持管理手法を導入します。2級村道、橋長 15m以上の橋梁、損傷が進行すると補修が困難となるPC桁橋を対象とします。

◎ 「グループC」

橋長 15m未満の橋梁を対象とします。規模が小さい橋は修繕が比較的容易であり、修繕費用も主要橋梁に比べて安価となるため、点検時に重大な損傷を見逃さないようにし、致命的な損傷に至る前に適切な対策を施すことで長寿命化を図ります。

～南牧村 村道の等級別道路例～



1 級村道(野辺山・平沢線)
(ハケ岳スケッチライン)



2 級村道(豊の原線)
(高原列車通り)

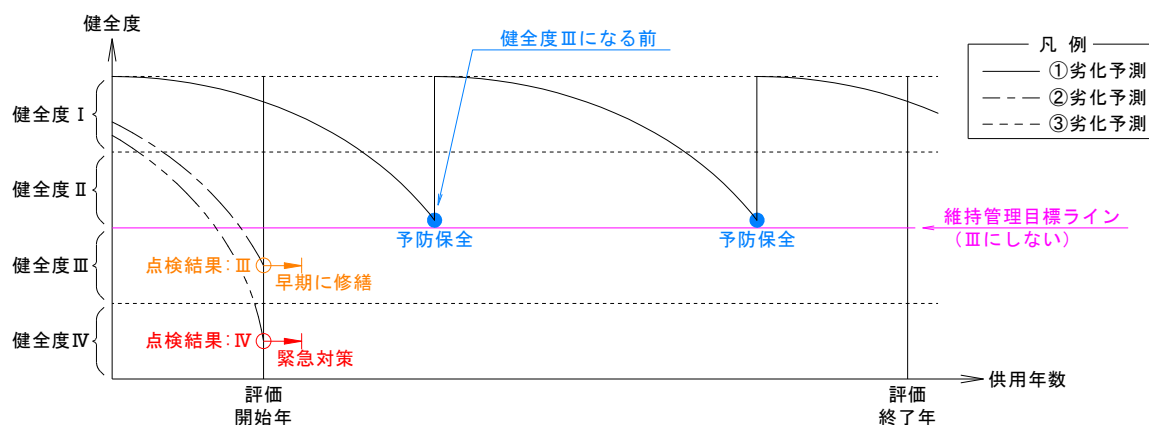


その他村道(村道 1091 号線)

維持管理目標・方針のイメージ

<予防保全：グループA・B>

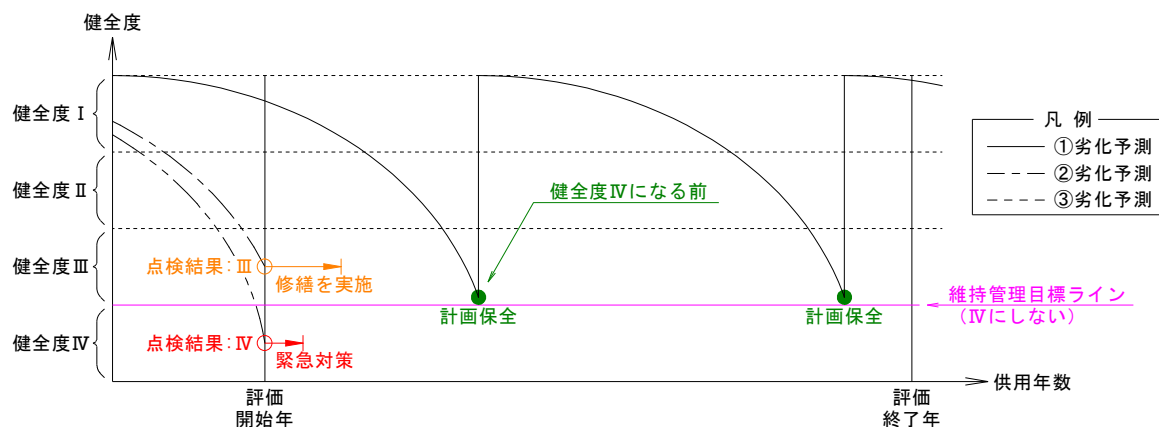
- ① 健全度Ⅲに到達する前に予防保全を実施
- ② 点検結果が健全度Ⅲの場合、評価開始年から早期に修繕を実施
- ③ 点検結果が健全度Ⅳの場合、評価開始年から緊急対策を実施



図：（グループA・B）

<計画保全：グループC>

- ① 健全度Ⅳに到達する前に計画保全を実施
- ② 点検結果が健全度Ⅲの場合、評価開始年から早期に修繕を実施
- ③ 点検結果が健全度Ⅳの場合、評価開始年から緊急対策を実施



図：（グループC）

対象橋梁の多くは、活荷重等による影響が少ないため劣化の進行が遅く、維持管理・修繕の対策時期の判断は困難となります。そのため、通常点検・定期点検により劣化の状態を確認し、必要な維持管理・修繕を行っていきます。

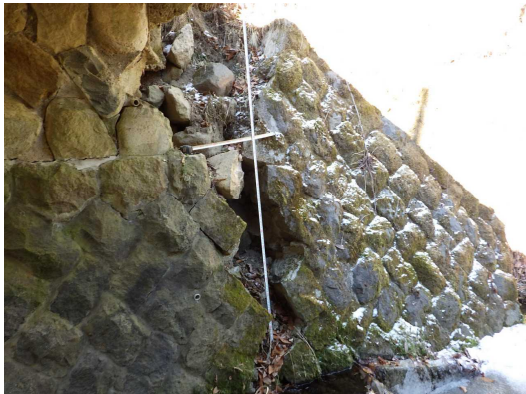
6. 対象橋梁毎の概ねの次回点検時期及び修繕内容・架替え時期及び架替え内容

各橋梁の健全度、補修方針を次項の表に示します。この計画は今後 10 年間(令和 3 年 12 月～令和 13 年 12 月)の計画を示し、5 年毎の見直しを計画していますが、社会情勢の変化や計画の進捗状況に合わせ必要に応じて見直しを行います。

◇ 対象橋梁の主な損傷

- ① 路肩部に土砂が堆積して橋面排水が不良となっているため、舗装の劣化・床版下面に漏水影響による損傷が発生している。
- ② 伸縮継手からの漏水影響により桁端部・支承周辺で損傷が発生している。
- ③ 南牧村の環境条件は良好であるが、冬季は寒冷な気候のため、一部の橋では凍害によるコンクリートの損傷が発生している。
- ④ 使用材料の経年劣化に起因する損傷が発生している。
 鋼橋 → 塗膜の経年劣化に伴い腐食が発生しているもの
 コンクリート橋 → 乾燥収縮等に起因するひび割れが進展したもの
 漏水影響等を受け鉄筋露出・遊離石灰等が発生したもの
- ⑤ 各路線の交通量は国道・県道交通量に比べて少なく、耐力不足・疲労による損傷は確認されていない。通行車両(活荷重)の影響は比較的小さいレベルにあると推定される。

鋼桁腐食	床版劣化
	

鉄筋コンクリート橋の劣化	下部工の劣化
	

◇ 橋梁長寿命化修繕計画の修繕方針

長寿命化修繕計画の修繕方針を示します。

- ① 活荷重の影響が少ないレベルにあると推定されるため、現在発生している損傷箇所を補修することで橋の安全性は一定水準まで回復し、長寿命化が図れます。
- ② 主な劣化因子は雨水の影響にあるため、漏水影響を受けている橋は、橋面防水・伸縮継手非排水化等を併用し劣化因子を遮断します。
- ③ 対象橋梁については、それぞれの橋の健全度・路線重要度・第三者被害の有無・孤立集落の有無に応じて優先順位を付け、予算配分の平準化にも配慮し修繕工事を行います。
- ④ ＰＣ構造は、劣化が進行した場合修繕が困難となることがあるため、優先的に修繕を実施します。
- ⑤ 前回点検より、判定がⅡ→Ⅲになった橋梁は劣化の進行が見られたため、優先的に修繕を実施します。

◇ 計画期間(今後 10 年間の修繕対象橋梁)

- 今後 10 年間（令和 3 年 12 月～令和 13 年 12 月）を修繕計画期間とします。
- 早期対応が望ましいと判断される判定Ⅲの橋梁を優先的に補修する計画とし、その後、グループ A, B の予防保全の実施が必要と判断される判定Ⅱの橋梁を選定します。
- グループ C は判定Ⅲの橋梁のみを補修する計画としています。
- 対象地域の橋梁は活荷重の影響が少なく劣化の進行は遅いと判断し、判定Ⅱの橋梁は次回全橋点検後以降の期間を含めた対策とし、損傷の進行状況により劣化因子に対して対応を行う計画としています。

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（グループA）

橋梁 番号	橋 梁 名	道路 種別	路 線 名	市町村名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対 策 区 分						対策の内容・時期										補 修 対 応（単位 百万円；諸経費含む）				
									判 定	主 桁	床 版	下 部	支 承	そ の 他	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	補修内容	優先順位	事業費	
26	広瀬原橋	1級	広瀬・野辺山線	南牧村	3.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	－	Ⅱ						全 橋 点 検							舗装更新	19	1.7
49	野辺山橋	1級	野辺山・平沢線	南牧村	2.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ													舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	31	2.3
51	矢出橋	1級	野辺山・平沢線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅱ													舗装更新、目地補修	15	2.9
54	矢出川2号橋	1級	野辺山・平沢線	南牧村	2.7	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ													－	38	－
59	矢出川橋	1級	野辺山・平沢線	南牧村	9.4	1988	33	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新	17	12.9
65	前川橋	1級	平沢・清里線	南牧村	3.5	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ													－	19	－
87	無名橋	1級	市場・川上線	南牧村	3.2	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅱ													－	31	－
88	無名橋	1級	市場・川上線	南牧村	2.6	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	－	Ⅰ													－	31	－
89	海尻橋	1級	海尻駅線	南牧村	54.8	1977	44	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		↔		↔									舗装更新、橋面防水、伸縮接手更	4	14.4
90	大芝橋	1級	大芝・川崎線	南牧村	112.8	1974	47	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水	9	12.1
91	向橋	2級	広瀬・南相木線	南牧村	60.4	1977	44	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水	9	6.5
92	板橋国道橋	その他	村道4177号線	南牧村	21.5	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ													－	27	－
94	平沢橋	1級	平沢・清里線	南牧村	27.2	1965	56	R2	Ⅲ	Ⅲ はく離	Ⅲ 鉄筋露出	Ⅲ はく離	Ⅲ 腐食	Ⅲ 鉄筋露出		↔	↔										舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新 支承取替、断面修復、ひびわれ注入	1	36.0
96	古屋敷橋	その他	村道2052号線	南牧村	65.1	1975	46	R2	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ													－	38	－
100	程久保橋	1級	広瀬・野辺山線	南牧村	27.2	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		↔		↔									舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新	3	19.0
107	板橋東大橋	その他	村道4001号線	南牧村	208.0	1998	23	R2	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ													－	38	－
108	海ノ口大橋	その他	村道2213号線	南牧村	142.5	1998	23	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水	9	27.0
109	志なの入り橋	その他	村道2213号線	南牧村	69.0	1996	25	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水	9	11.4
110	茶堰橋	1級	八ヶ岳線	南牧村	21.0	2013	8	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ													－	26	－
111	千ヶ滝橋	1級	二手線	南牧村	28.0	1966	55	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新	9	19.6
112	村上橋	その他	村道4012号線	南牧村	69.8	1992	29	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水	15	10.5

※判定区分 Ⅰ：健全 Ⅱ：予防保全段階 Ⅲ：早期措置段階 Ⅳ：緊急措置段階

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（グループB）

橋梁 番号	橋 梁 名	道路 種別	路 線 名	市町村名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対 策 区 分						対策の内容・時期										補 修 対 応（単位 百万円；諸経費含む）				
									判 定	主 桁	床 版	下 部	支 承	そ の 他	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	補修内容	優先順位	事業費	
24	杣添2号橋	その他	村道2102号線	南牧村	7.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ											改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.3		
27	広瀬原2号橋	2級	広瀬・原線	南牧村	3.6	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ											舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	35	1.9		
37	石 橋	2級	石 橋 線	南牧村	2.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ											舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	27	1.8		
42	中の沢2号橋	2級	葎の頭線	南牧村	6.0	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ											－	49	－		
45	中の沢橋	2級	葎の頭線	南牧村	5.3	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ											－	－	－		
50	ニッ山前橋	2級	丸山・三沢線	南牧村	2.5	1994	27	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅰ											－	27	－		
52	豊の原2号橋	2級	豊の原線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ											－	38	－		
53	豊の原1号橋	2級	豊の原線	南牧村	3.3	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ											－	35	－		
61	三沢橋	2級	双ツ山・1号線	南牧村	15.9	2005	16	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ											舗装更新、橋面防水	19	3.8		
73	小倉橋	2級	小倉線	南牧村	5.1	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ											改質剤塗布、簡易伸縮装置	35	2.3		
76	丸山3号橋	2級	丸山・三沢線	南牧村	4.7	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅲ ひびわれ	－	Ⅱ	－	Ⅱ		↔		↔	全橋点検							舗装更新、断面修復、ひびわれ注入	6	7.8	
77	丸山4号橋	2級	丸山・三沢線	南牧村	5.0	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅲ はく離	－	Ⅱ	－	↔Ⅱ		↔		↔								舗装更新、橋面防水、断面修復	6	12.7	
79	高見沢2号橋	2級	高見沢線	南牧村	9.6	1992	29	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新	31	12.3	
83	平沢橋	2級	小倉線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅰ												－	27	－	
93	板橋川橋	2級	板橋・村中線	南牧村	20.0	1974	47	R2	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												－	38	－	
95	高石橋	2級	高石線	南牧村	15.7	1966	55	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水	9	1.8
97	川久保橋	その他	村道6092号線	南牧村	42.6	1979	42	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新	19	16.0
98	湯川橋	その他	村道1005号線	南牧村	15.9	1960	61	R2	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ													－	38	－
99	高見沢5号橋	その他	村道2060号線	南牧村	16.6	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ													舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	19	2.7
101	大門川橋	その他	村道5049号線	南牧村	21.0	1960	61	R2	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ													－	38	－
102	高見沢3号橋	2級	高見沢線	南牧村	21.0	1992	29	R2	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ エフロ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ		↔	↔									舗装更新、橋面防水	2	3.7	
103	高見沢4号橋	2級	高見沢線	南牧村	17.7	1992	29	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		↔			↔							舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新	5	16.0	
104	湯川2号橋	その他	村道1140号線	南牧村	47.4	1997	24	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水	19	6.1	
105	杣添橋	その他	村道2211号線	南牧村	20.5	1977	44	R2	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ 機能障害	Ⅱ		↔		↔								舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置、支承取替	6	3.5	
106	北沢橋	その他	村道2211号線	南牧村	20.5	1977	44	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	17	3.3	
113	まきば橋	その他	村道2190号線	南牧村	20.2	1991	30	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、伸縮接手更新	19	10.2	

※判定区分 Ⅰ：健全 Ⅱ：予防保全段階 Ⅲ：早期措置段階 Ⅳ：緊急措置段階

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（グループC）

橋梁 番号	橋 梁 名	道路 種別	路 線 名	市町村名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対 策 区 分						対策の内容・時期										補 修 対 応（単位 百万円；諸経費含む）			
									判 定	主 桁	床 版	下 部	支 承	そ の 他	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	補修内容	優先順位	事業費
1	殿岡橋	その他	村道1079号線	南牧村	12.6	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.4
2	釜の前橋	その他	村道1091号線	南牧村	2.6	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.5
3	釜の前3号橋	その他	村道1097号線	南牧村	3.1	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ 洗堀	Ⅰ	Ⅰ							↔↔↔	↔↔↔				舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置、断面修復	8	4.2
4	釜の前2号橋	その他	村道1099号線	南牧村	2.1	1994	27	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.1
5	神川橋	その他	村道1004号線	南牧村	6.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.2
6	裏の久保橋	その他	村道2005号線	南牧村	3.2	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	－	－	－												－	－	－
7	長橋	その他	村道2031号線	南牧村	2.3	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ 欠損	－	－							↔↔↔	↔↔↔				架け替え	8	8.6
8	長橋2号橋	その他	村道2032号線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ 欠損	－	Ⅱ						↔↔↔		↔↔↔				架け替え	2	6.9
9	水滝橋	その他	村道1005号線	南牧村	4.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.0
10	高見沢橋	2級	高見沢線	南牧村	10.1	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												－	－	－
11	高見沢6号橋	その他	村道2059号線	南牧村	7.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.0
12	権現沢橋	その他	村道3005号線	南牧村	3.2	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												－	－	－
13	藤の沢2号橋	その他	村道2072号線	南牧村	4.0	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ 欠損	－	Ⅰ							↔↔↔	↔↔↔				改質剤塗布、簡易伸縮装置、Co打設	5	2.8
14	和田橋	その他	村道3017号線	南牧村	6.7	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												簡易伸縮装置	－	1.5
15	藤の沢橋	その他	村道2072号線	南牧村	1.9	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												－	－	－
16	樋の沢橋	その他	村道3001号線	南牧村	5.8	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.1
17	諸沢橋	その他	村道2100号線	南牧村	6.5	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												簡易伸縮装置	－	1.6
18	鮎久保橋	その他	村道3045号線	南牧村	5.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.2
19	榎の木橋	その他	村道3050号線	南牧村	1.8	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												－	－	－
20	新田橋	その他	村道3191号線	南牧村	4.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布	－	1.8
21	細沢橋	その他	村道3139号線	南牧村	4.5	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布	－	1.7
22	諸沢2号橋	その他	村道2101号線	南牧村	4.5	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												改質剤塗布	－	1.7
23	杣添橋	その他	村道2102号線	南牧村	2.1	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅰ	－	Ⅲ 欠損	－	Ⅰ							↔↔↔	↔↔↔	↔↔↔			Co打設	8	1.8
25	むじなの平橋	その他	村道2103号線	南牧村	4.1	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												改質剤塗布	－	1.8
28	しぼり沢	その他	村道3191号線	南牧村	4.5	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.1
29	市場4号橋	その他	村道2117号線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅲ 鉄筋露出	－	Ⅰ	－	Ⅱ							↔↔↔		↔↔↔			舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置、断面修復	5	4.0
30	市場3号橋	その他	村道2117号線	南牧村	2.2	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅲ ひびわれ	－	Ⅱ	－	Ⅱ						↔↔↔	↔↔↔					舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置、断面修復、ひびわれ充填	2	4.0
31	市場2号橋	その他	村道2207号線	南牧村	1.8	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅰ												－	－	－
32	神明森橋	その他	村道3191号線	南牧村	5.0	1982	39	R2	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ												－	－	－
33	ニテ2号橋	その他	村道2134号線	南牧村	5.5	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布	－	1.8
34	ニテ3号橋	その他	村道2136号線	南牧村	4.8	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.2

※判定区分 Ⅰ：健全 Ⅱ：予防保全段階 Ⅲ：早期措置段階 Ⅳ：緊急措置段階

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（グループC）

橋梁 番号	橋 梁 名	道路 種別	路 線 名	市町村名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対 策 区 分						対策の内容・時期										補 修 対 応（単位 百万円；諸経費含む）			
									判 定	主 桁	床 版	下 部	支 承	そ の 他	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	補修内容	優先順位	事業費
35	男山橋	その他	村道3191号線	南牧村	8.7	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.4
36	鍛冶屋敷橋	その他	村道3165号線	南牧村	7.5	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.5
38	笹倉橋	その他	村道3116号線	南牧村	5.9	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ												改質剤塗布	－	1.8
39	夫婦石橋	その他	村道4002号線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												－	－	－
40	中通橋	その他	村道4140号線	南牧村	2.6	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												－	－	－
41	ざっこの沢橋	その他	村道4177号線	南牧村	6.8	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.3
43	梨の木橋	その他	村道5008号線	南牧村	3.3	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												床版水切設置	－	1.8
44	ざっこの沢橋	その他	村道4069号線	南牧村	5.8	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ 洗堀	Ⅰ	Ⅱ												架け替え	2	34.3
46	ニッ山橋	その他	村道5014号線	南牧村	5.1	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.3
47	矢出川5号橋	その他	村道5034号線	南牧村	3.6	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅰ												－	－	－
48	矢出川4号橋	その他	村道5034号線	南牧村	2.9	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												－	－	－
55	矢出沢橋	その他	村道5032号線	南牧村	7.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.4
56	矢出川3号橋	その他	村道5032号線	南牧村	7.1	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.4
57	丸山2号橋	その他	村道5052号線	南牧村	4.6	2013	8	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												床版水切設置	－	1.8
58	丸山橋	その他	村道5052号線	南牧村	4.6	2013	8	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅰ												床版水切設置	－	1.8
60	矢出川歩道橋	1級	野辺山・平沢線	南牧村	7.5	1985	36	R2	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	6.5
62	矢出原3号橋	その他	村道5070号線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.4
63	矢出原1号橋	その他	村道5070号線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅱ												－	－	－
64	矢出原2号橋	その他	村道5070号線	南牧村	3.5	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅱ	－	Ⅱ												－	－	－
66	長笹橋	その他	村道6018号線	南牧村	3.9	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅲ ひびわれ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												改質剤塗布、転落防止柵、断面修復	8	3.9
67	長笹2号橋	その他	村道6021号線	南牧村	2.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	－	Ⅱ												－	－	－
68	長敷橋	その他	村道6022号線	南牧村	3.8	1982	39	R2	Ⅲ	Ⅱ	－	Ⅲ 目地剥離	－	Ⅰ												コンクリート張	5	2.1
69	前川2号橋	その他	村道6023号線	南牧村	6.1	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												改質剤塗布	－	1.7
70	奈良山橋	その他	村道6058号線	南牧村	3.5	1982	39	R2	Ⅰ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅰ												－	－	－
71	舟久保橋	その他	村道6003号線	南牧村	5.0	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	－	Ⅰ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.2
72	中原橋	その他	村道6003号線	南牧村	4.4	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												舗装更新、橋面防水、簡易伸縮装置	－	2.2
74	坂下橋	その他	村道6045号線	南牧村	7.7	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅱ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												改質剤塗布	－	0.3
75	樋山口3号橋	その他	村道3183号線	南牧村	3.1	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	－	Ⅰ												断面修復	－	5.0
78	程久保2号橋	その他	村道3185号線	南牧村	4.8	1982	39	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅰ	－	Ⅱ												舗装更新	－	2.1
80	開墾地橋	その他	村道2205号線	南牧村	2.0	1992	29	R2	Ⅱ	Ⅰ	－	Ⅱ	－	Ⅰ												改質剤塗布、簡易伸縮装置	－	2.2
81	高石2号橋	その他	村道1140号線	南牧村	13.0	1996	25	R2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ												舗装更新、橋面防水	－	2.7

※判定区分 Ⅰ：健全 Ⅱ：予防保全段階 Ⅲ：早期措置段階 Ⅳ：緊急措置段階

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期 (グループC)

[illegible]

※判定区分 I : 健全 II : 予防保全段階 III : 早期措置段階 IV : 緊急措置段階

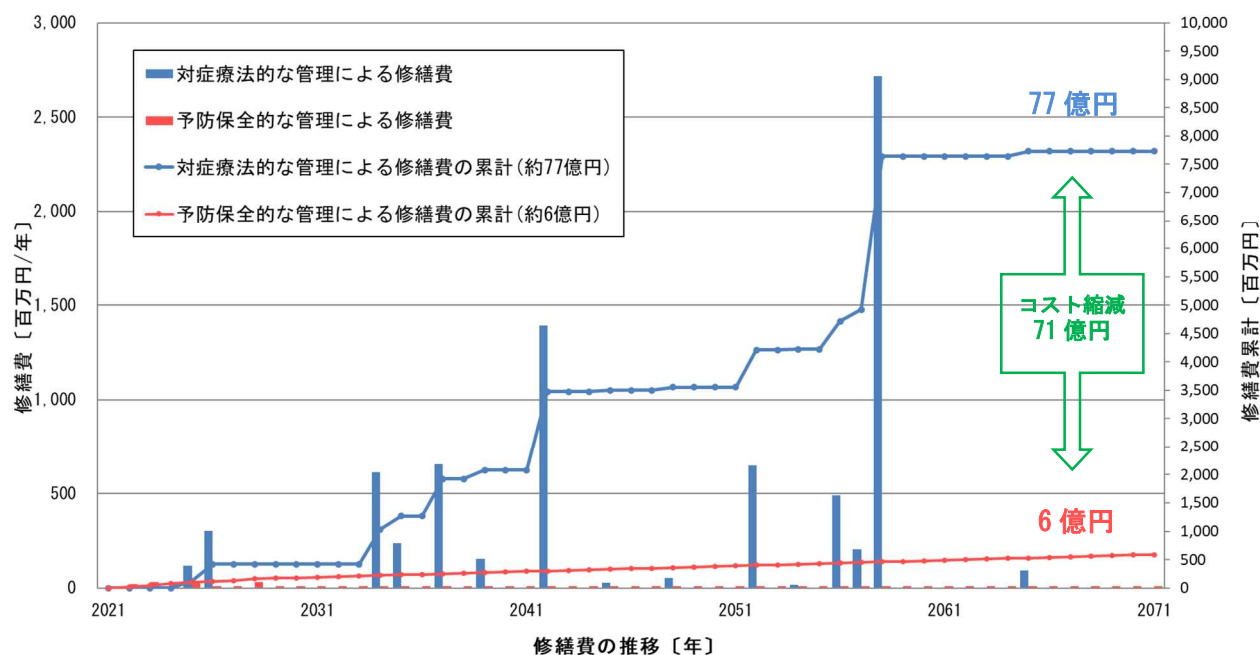
7. 橋梁長寿命化修繕計画による効果

○ 橋梁毎の効果についての検証

橋梁点検により現状を把握し、計画的に適切な時期に適切な修繕工事を実施することで橋梁の安全性が確保され、道路の機能が将来にわたって維持できます。

○ 計画全体での効果についての検証

- ・長寿命化修繕計画を基本とした予防保全的な維持管理に転換することで、橋梁の長寿命化が図られ、コスト縮減に繋がります。
- ・橋梁の状態に応じた修繕計画を策定することで、予算配分の平準化・架替えピークの平準化が図れます。



◇ 修繕費の推移グラフについて

計画対象橋梁について、向こう50年の比較を行っています。

現在の橋の耐用年数は道路橋示方書に拠り、100年と仮定していますが、南牧村に架設されている橋は、大半が昭和に架設されている橋の為、耐用年数は60年としています。

対症療法的な維持管理は、積極的な維持補修に依らず、寿命による架替えを待つ場合を想定し、60年経過した橋梁の架替え費を計上しています。今後92年で対象橋梁がすべて架替えとなります。

予防保全的な維持管理は、補修により橋の耐用年数が30年延びると仮定しています。最初の5年間で判定区分Ⅲの橋梁を補修し、その後、判定区分Ⅱの橋梁を年平均1.0千万円の修繕・維持管理費を計上し、再び寿命となるため架替えとなりますが、この間に定期点検により蓄積されたデータによって計画の適宜見直しを行い、架替えを行う橋梁・補修を行う橋梁に選別して対応可能であると考えています。

その結果、50年後は約71億円のコスト縮減が見込まれ、これを目標とします。

8. 長寿命化に向けた短期的な数値目標

8-1. 基本方針

管理するすべての橋梁について、点検・修繕・更新の実施に当たっては、新技術情報提供システム (NETIS) や点検支援技術性能カタログなどを参考に、新技術等の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図ります。

8-2. 集約化・撤去

令和 8 年までに、迂回路が存在し集約化が可能な場合や、機能縮小、複数施設の集約化を検討し、当該橋梁の集約・撤去を進め、今後 5 年間の維持管理に係る修繕等の費用を約 1 百万円程度のコスト縮減を目標とします。

8-3. 新技術の活用・費用の削減

令和 8 年度までに、計画対象橋梁 113 橋のうちグループ A にあたる 21 橋（約 2 割）の橋梁で新技術の活用を実施し、コストの縮減を目指し、今後グループ B, C の橋梁に対しても活用の実施を目標とします。

また 2 巡目点検の定期点検において、計画対象橋梁 113 橋のうちグループ A にあたる 21 橋（約 2 割）の橋梁で、橋梁点検専用ドローンや人工知能 (AI) による点検支援技術、赤外線等を使用した非破壊検査技術等の新技術の活用を実施し、令和 8 年度までの 5 年間で約 3%（約 1.2 百万円）のコスト縮減を目標とします。

9. 計画策定部署及び意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

○ 計画担当部署

長野県 南牧村 産業建設課 TEL 0267-96-2211

○ 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

信州大学 工学博士 大上 俊之 名誉教授

長野工業高等専門学校 工学修士 永藤 壽宮 名誉教授

この計画は、信州大学 工学博士 大上 俊之 名誉教授、
長野工業高等専門学校 工学修士 永藤 壽宮 名誉教授のご意見を伺って、
とりまとめを行っています。